

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

個21事12

政策名	5 安全な港			24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)	責任者	総務部 危機管理室担当課長	
基本施策名	07 危機管理機能の強化						
個別施策名	21 防災対策を強化する			事務事業	成果	コスト	
事務事業名	12 防災対策におけるシステムの管理運営			継続	維持	維持	
目的	各システムを適切に管理し、災害時の防災対策及び防災活動に活用します。					事業期間	平成21年度～継続
概要	港湾用防災無線局、防災気象・潮位予測情報システム(MICOS)及び緊急地震速報システムを適切に管理し、防災対策及び防災活動に活用します。					根拠法令等	名古屋港管理組合防災計画
						実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
平成25年度の実施予定	港湾用防災無線局:年間保守点検、通信テスト(月1回) MICOS:年間保守点検、防災対策本部での活用 緊急地震速報システム:年間保守点検 無線システムの検討、職員参集システムの検討					関連シート	個21事13「防災気象・潮位予測情報システムの管理運営」、個21事14「緊急地震速報システムの管理運営」をこの事務事業に整理統合しました。

2 DO(実施)

平成25年度に実施した内容・結果	港湾用防災無線局:年間保守点検、通信テスト(月1回) MICOS:年間保守点検、防災対策本部での活用 緊急地震速報システム:年間保守点検 無線システムの検討、職員参集システムの検討							
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(実績見込み)	合計	備考(款項目節等)
事業費計	千円	11,942	15,980	11,059	16,322	9,577	64,880	(款項目節) 歳出:総務費/総務管理費/一般管理費/委託料、使用料及び賃借料 (算出計算式)
一般会計	千円	11,942	15,980	11,059	16,322	9,577	64,880	(その他) 港湾用防災無線局 172千円 MICOS 7,084千円 緊急地震速報システム 2,321千円
事業会計	千円							
その他	千円							
人員費計	千円	4,291	6,785	4,310	4,358	7,008	26,752	
正規職員	人	0.50	0.80	0.50	0.50	0.80		
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
合計	千円	16,233	22,765	15,369	20,680	16,585	91,632	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	中間目標	25	備考(指標の算定方法など)
保守点検(システム)	目標	3	3	3	3	3		3	各システムにおける年間保守点検の実施
	実績	3	3	3	3	3			
	達成率(単年度%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
訓練、防災対策等での活用(回)	目標	15	14	14	14	14		14	防災無線通信テスト 12回 MICOS防災対策本部使用 2回
	実績	17	15	14	17	14			
	達成率(単年度%)	113.3	107.1	100.0	121.4	100.0			
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-			
平成25年度までを総括した必要性・有効性・効率性の確認		判断理由(課題の抽出)							その他特記事項
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○・ <input type="checkbox"/> ×							現政策体系の5年間に於いて、当該システムを管理運営することは、本組合の災害時の情報収集及び発信といった防災対策及び防災活動として必要があります。
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○・ <input type="checkbox"/> ×							
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○・ <input type="checkbox"/> ×							
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○・ <input type="checkbox"/> ×							現政策体系の5年間に於いて、各システムを適切に管理することにより、災害発生時においても迅速に活用できました。
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○・ <input type="checkbox"/> ×							
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○・ <input type="checkbox"/> ×							
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○・ <input type="checkbox"/> ×							現政策体系の5年間に於いて、最低限必要な保守点検費用、人件費で実施しました。
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○・ <input type="checkbox"/> ×							
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○・ <input type="checkbox"/> ×							

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続	➡	➡	防災活動や災害時の情報収集・伝達を適切に行う必要があるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				

各種システムを活用し、迅速に情報収集・伝達を図るため、日頃の保守・管理を行ってまいります。また、新たな無線システムの導入についても検討してまいります。